

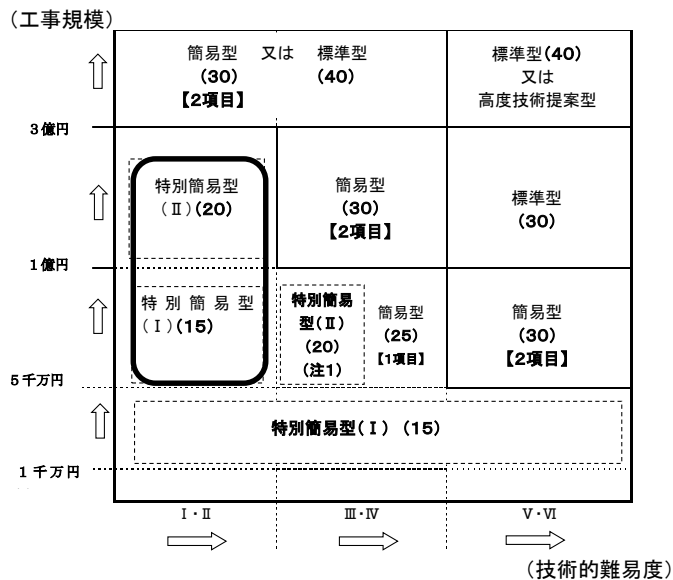
# 令和4年度工事総合評価 実施結果

---

令和5年9月14日  
山梨県総合評価委員会  
県土整備部技術管理課

## 令和4年度の総合評価実施方針(工事)

1. 原則、3千万円以上の工事について実施する。(緊急を要する工事を除く)
2. 一般競争入札の工事で余裕期間制度の試行を継続する。
3. 3千万円以上の災害本復旧工事を総合評価落札方式で実施する場合は、特別簡易型 I を適用する試行を継続する。
4. ICT(受注者希望型)を適用する工事はICTの施工計画を求める試行を継続する。
5. 1千万円以上の解体工事は「施工体制評価型」の試行を継続する。
6. 意見聴取は毎週木曜午後2時から防災新館で実施、木曜日が祝祭日の場合は、前後に実施する。
7. 令和4年度 第1回山梨県総合評価委員会開催を9月、第2回委員会開催を3月に予定する。



- 特別簡易型(I)  
企業実績、地域精通度、地域貢献度を評価するタイプ
- 特別簡易型(II)  
特別簡易型(I)に加え、配置予定技術者を評価するタイプ
- 簡易型  
特別簡易型(II)に加え、簡易な施工計画の提案を評価するタイプ
- 標準型  
簡易な施工計画ではなく、技術提案を求め、評価するタイプ
- 県内下請活用審査型  
県内に有資格者がいない工事において、県内企業が下請できる部分が含まれる工事が対象
- 施工体制評価型  
As工事、解体工事において、自社雇用の技術者や自社所有の施工機械を評価するタイプ

### ※ 令和4年度 改定事項

1. 工事成績評価対象期間の変更  
(企業、配置予定技術者とも、3年→2年)
2. 余裕期間制度試行対象: 一般競争入札に拡大
3. アスファルト舗装工事総合評価落札方式の本格運用開始

### ※ 令和4年度における特例

特例の種類	適用期間	総合評価の種類	余裕期間 (通常60日)
① 新型コロナウイルス新規感染拡大に伴う工事の発注に係る事務処理の特例 (コロナ特例)	R4.9.1-R5.3.31	工事規模と技術的難易度によらず、特別簡易型(I)を選定することができる。	60日
② 令和4年12月補正予算による工事の発注に係る事務処理の特例 (12月補正特例)	R4.12.19-R5.3.31	※特定建設工事共同企業体による、議会の議決を要する工事は除く。	90日

令和4年度 山梨県総合評価委員会 開催日  
 第1回 令和4年9月28日  
 第2回 令和5年3月15日

令和4年度の意見聴取件数は**814件**（809件+県以外5件）

	合計	通常				下請	施工体制評価型		建設コンサルタント業務		県以外
		特別簡易型 (I)	特別簡易型 (II)	簡易型	標準型	県内下請活用審査型	アスファルト舗装工事	解体工事	簡易型	特別簡易型	市町村・道路公社等
意見聴取件数	814件	497件	29件	104件	4件	7件	114件	7件	1件	46件	5件

※令和5年3月末時点

甲斐市 (3件)  
道路公社 (2件)

### 意見聴取の回数

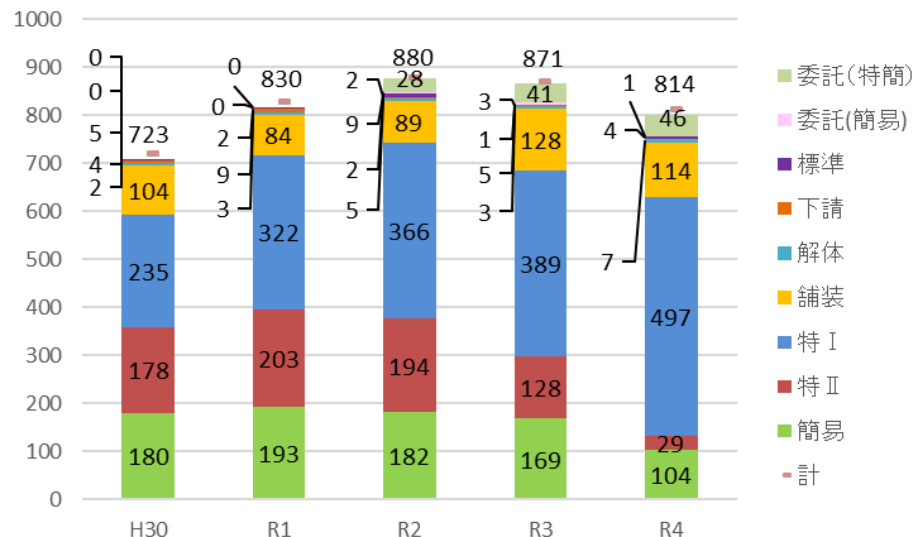
令和4年度は、計**44**回実施

	H30	R1	R2	R3	R4
年間意見聴取実施回数(回)	46	45	42	44	44

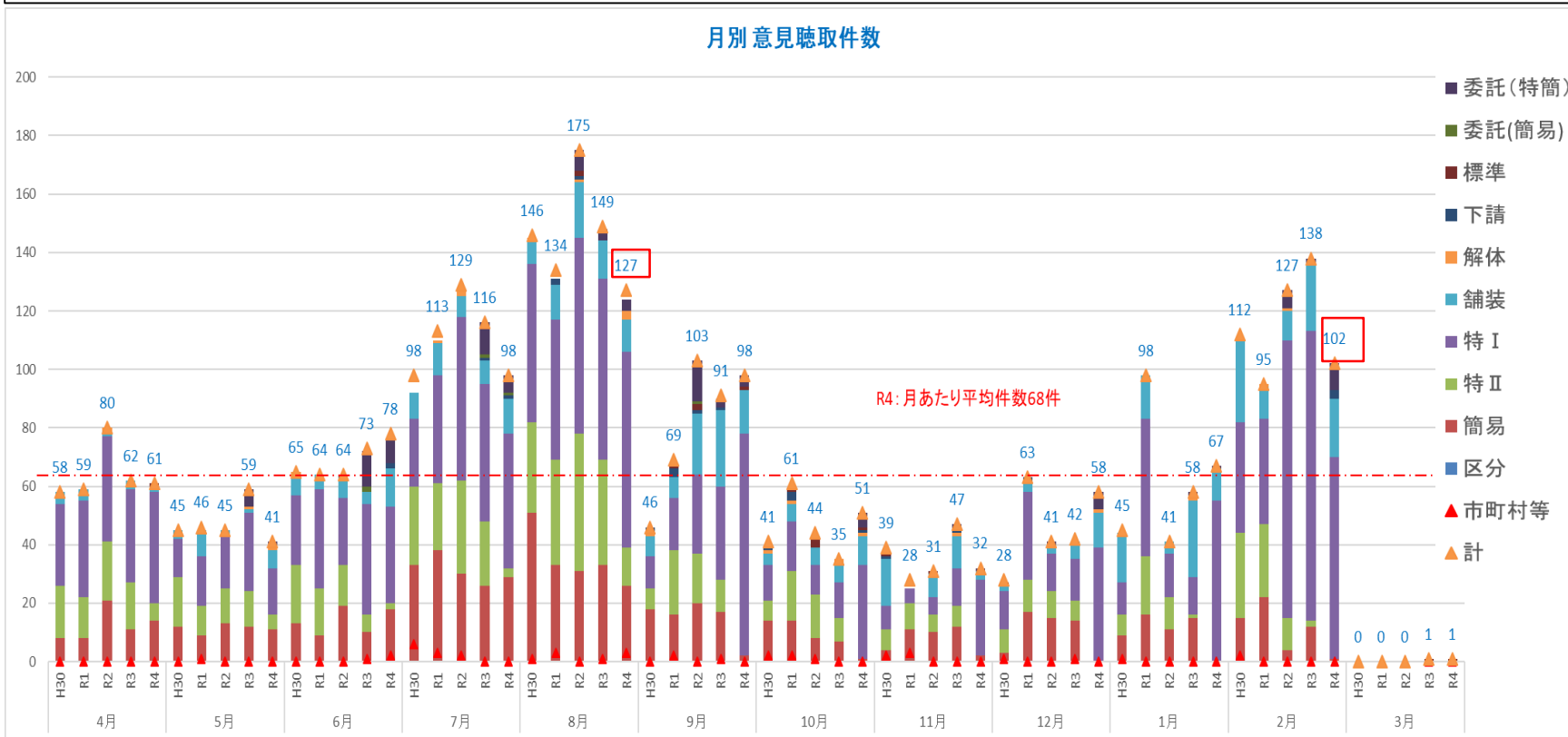
### 意見聴取件数の推移

令和4年度は、前年度に比べ**57**件減少

年間意見聴取件数



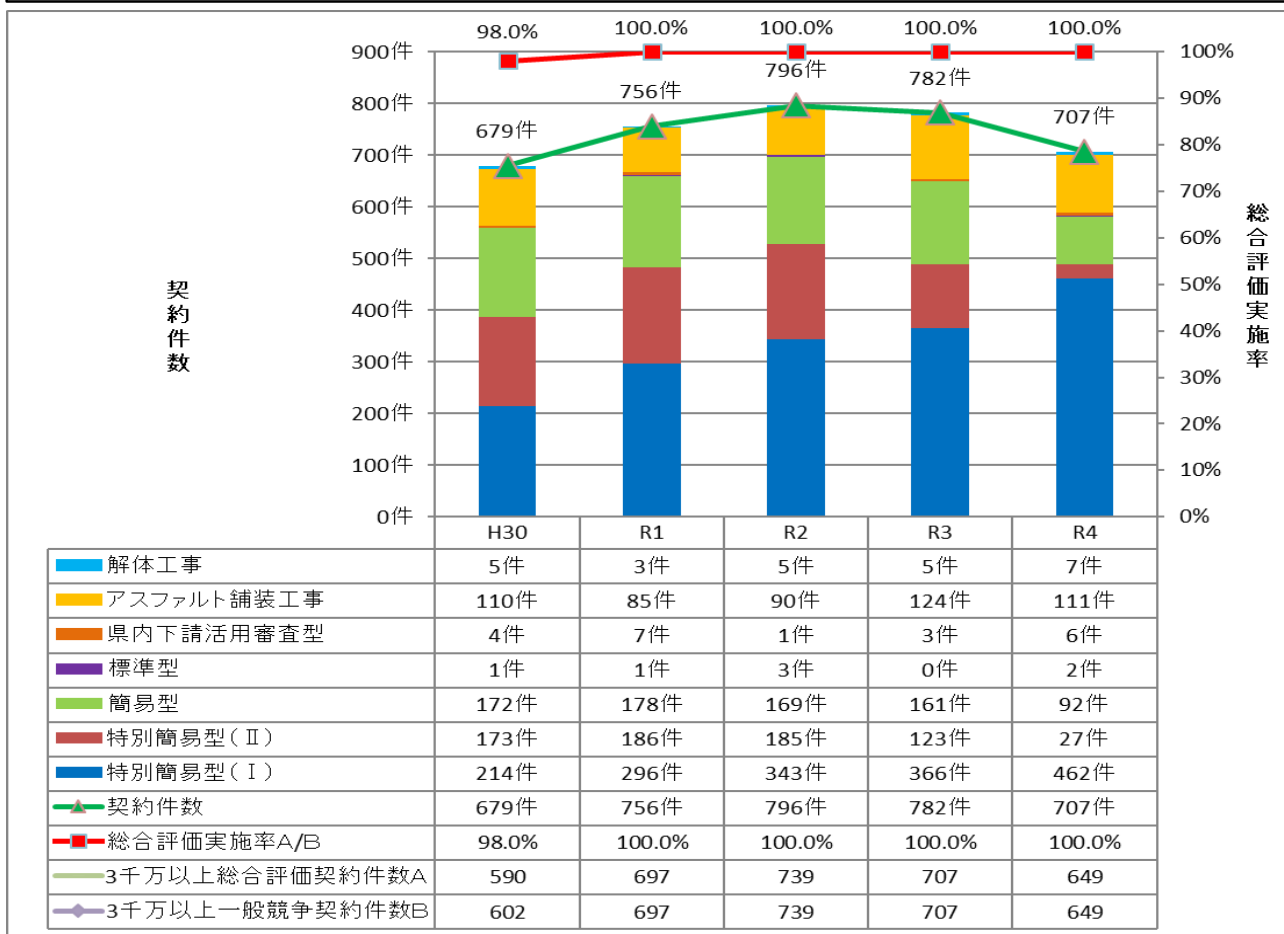
1. 意見聴取件数のピークは8月(127件)、次いで2月(102件)
2. 2班体制(2人×2班=4人)での意見聴取を2回実施



## 意見聴取件数が多い場合の対応

- ・個別に意見を伺う標準型及び簡易型の件数が12件(概ね2時間)を超えることが予想される場合は、2班に分けて意見聴取する。

1. 3千万円以上の工事は原則総合評価落札方式としている
2. 3千万円以上の一般競争入札の工事に占める総合評価の割合は100%  
 ※ アスファルト舗装工事、解体工事（施工体制評価型）についても、1千万以上の一般競争入札の工事に占める総合評価の割合も 100% )



※R5年8月1日時点（警察は除く。）

※ここでの総合評価適用率は3千万円以上の一般競争入札に占める割合。

# 総合評価の実施状況(工種別契約件数)

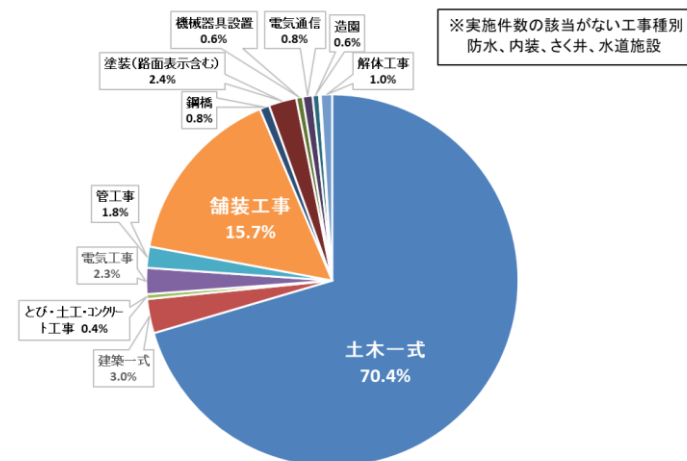


1. タイプ別では、特別簡易型(Ⅰ)が約65%、簡易型が約13%
2. 工事種別では、土木一式が多く、498件/全707件(約70%)

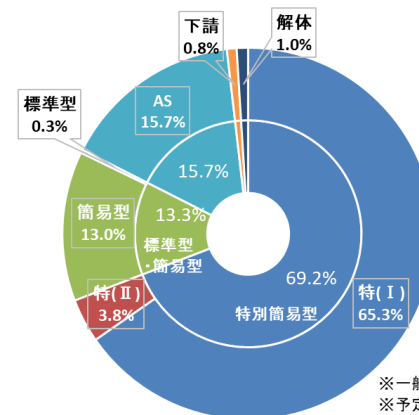
## R4(実績値)

工事種別	件数							合計	割合
	特(Ⅰ)	特(Ⅱ)	簡易型	標準型	AS	下請	解体		
土木一式	409	24	63	2	0	0	0	498	70.4%
建築一式	12	0	9	0	0	0	0	21	3.0%
とび・土工・コンクリート工事	3	0	0	0	0	0	0	3	0.4%
電気工事	7	2	5	0	0	2	0	16	2.3%
管工事	7	1	5	0	0	0	0	13	1.8%
舗装工事	0	0	0	0	111	0	0	111	15.7%
鋼橋	1	0	5	0	0	0	0	6	0.8%
塗装(路面表示含む)	13	0	4	0	0	0	0	17	2.4%
防水	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
内装	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
機械器具設置	1	0	0	0	0	3	0	4	0.6%
電気通信	4	0	1	0	0	1	0	6	0.8%
造園	4	0	0	0	0	0	0	4	0.6%
さく井	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
水道施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
消防施設	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
解体工事	0	0	0	0	0	0	7	7	1.0%
合計(件数)	462	27	92	2	111	6	7	707	100%
割合	65.3%	3.8%	13.0%	0.3%	15.7%	0.8%	1.0%	100%	
	69.2%		13.3%		15.7%		1.0%		

R4(実績値) 総合評価実施状況(工事種別)



R4(実績値) 総合評価実施状況(タイプ別)



※警察は除く。

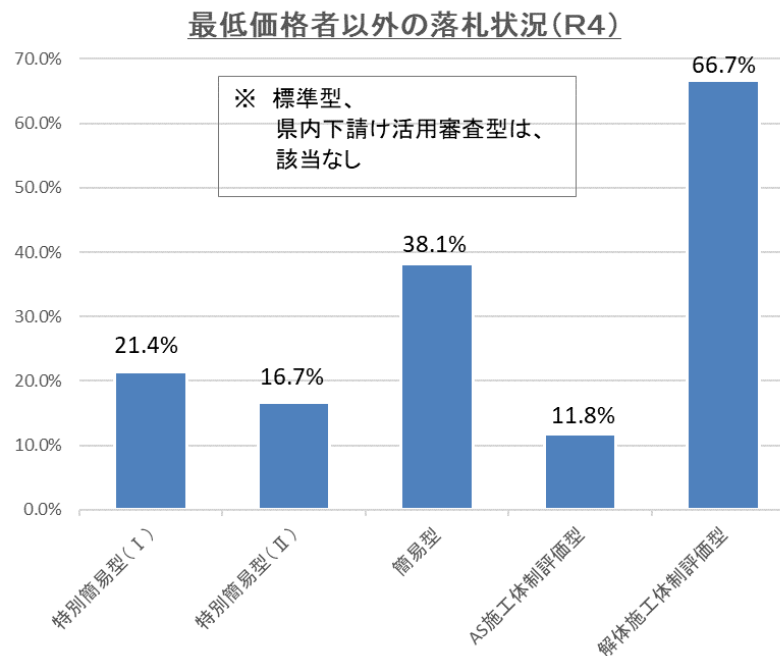
※一般競争入札を対象  
 ※予定価格250万円未満を除く  
 ※警察を除く

# 落札者の状況(最低価格者以外が落札した割合)

1. 総合評価落札方式の全発注件数のうち**22.4%**で最低価格者以外が落札
2. 最低価格者以外の落札状況は、解体施工体制評価型が**66.7%**、簡易型**38.1%**、特別簡易型(Ⅱ)**16.7%**
3. 施工計画において、技術力をより求める簡易型において多くの案件で最低価格者以外が落札

## 落札者の状況(最低価格者以外が落札した割合)

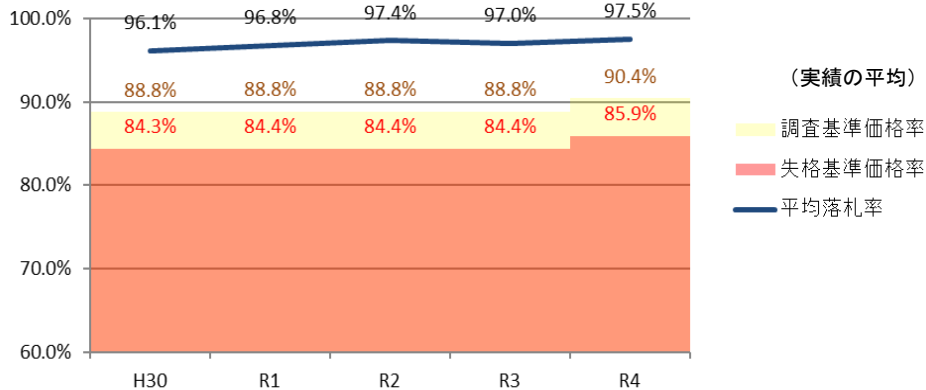
	R4年度		
	対象件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合
特別簡易型(Ⅰ)	131件	28件	21.4%
特別簡易型(Ⅱ)	12件	2件	16.7%
簡易型	21件	8件	38.1%
標準型	0件	0件	-
AS施工体制評価型	34件	4件	11.8%
県内下請活用審査型	1件	0件	0.0%
解体施工体制評価型	6件	4件	66.7%
計	205件	46件	22.4%



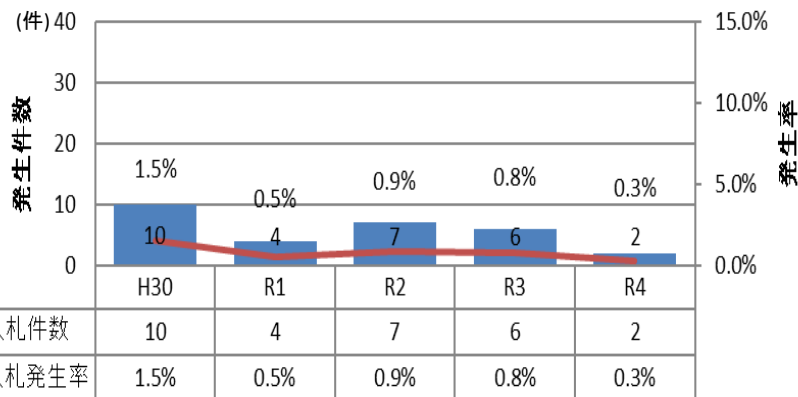
※警察は除く。

1. 総合評価落札方式の平均落札率はH30年度以降、96%～97%を推移。R4年度は**97.5%**
2. 低入札の価格調査は、過去4年は1.0%未満で推移しており、R4年度は**0.3%**(2件とも解体工事)

### 総合評価落札率

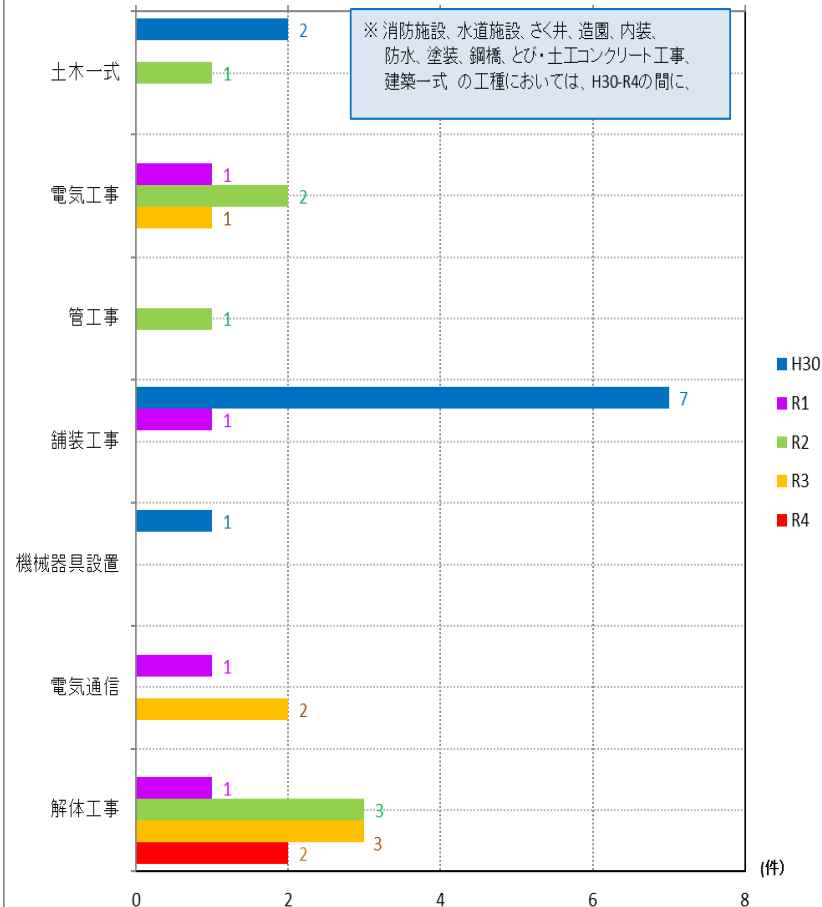


### 低入札価格調査発生率



令和4年度 総合評価件数:707件

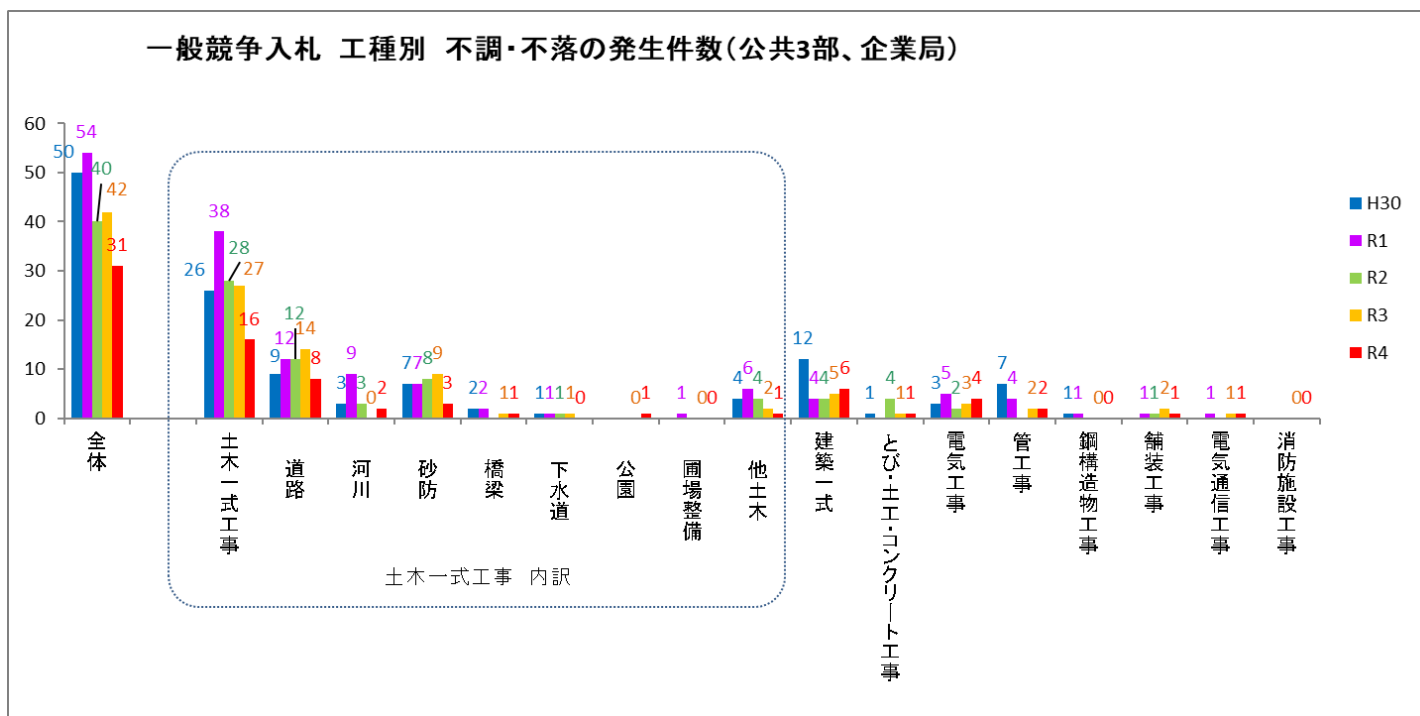
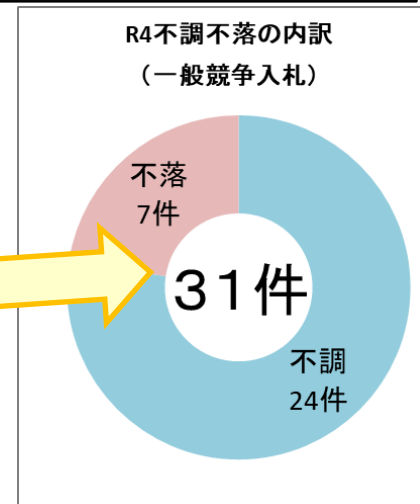
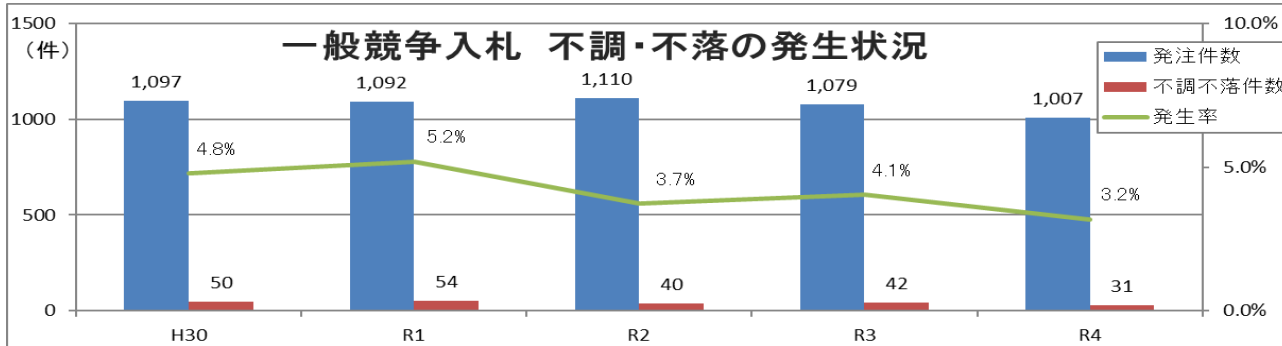
### 低入札工種別発生件数



※警察は除く。



1. 不調・不落の発生率は、H30年度から減少傾向
2. R4年度の不調不落発生率は3.2%で、昨年度に比べ0.9%減少

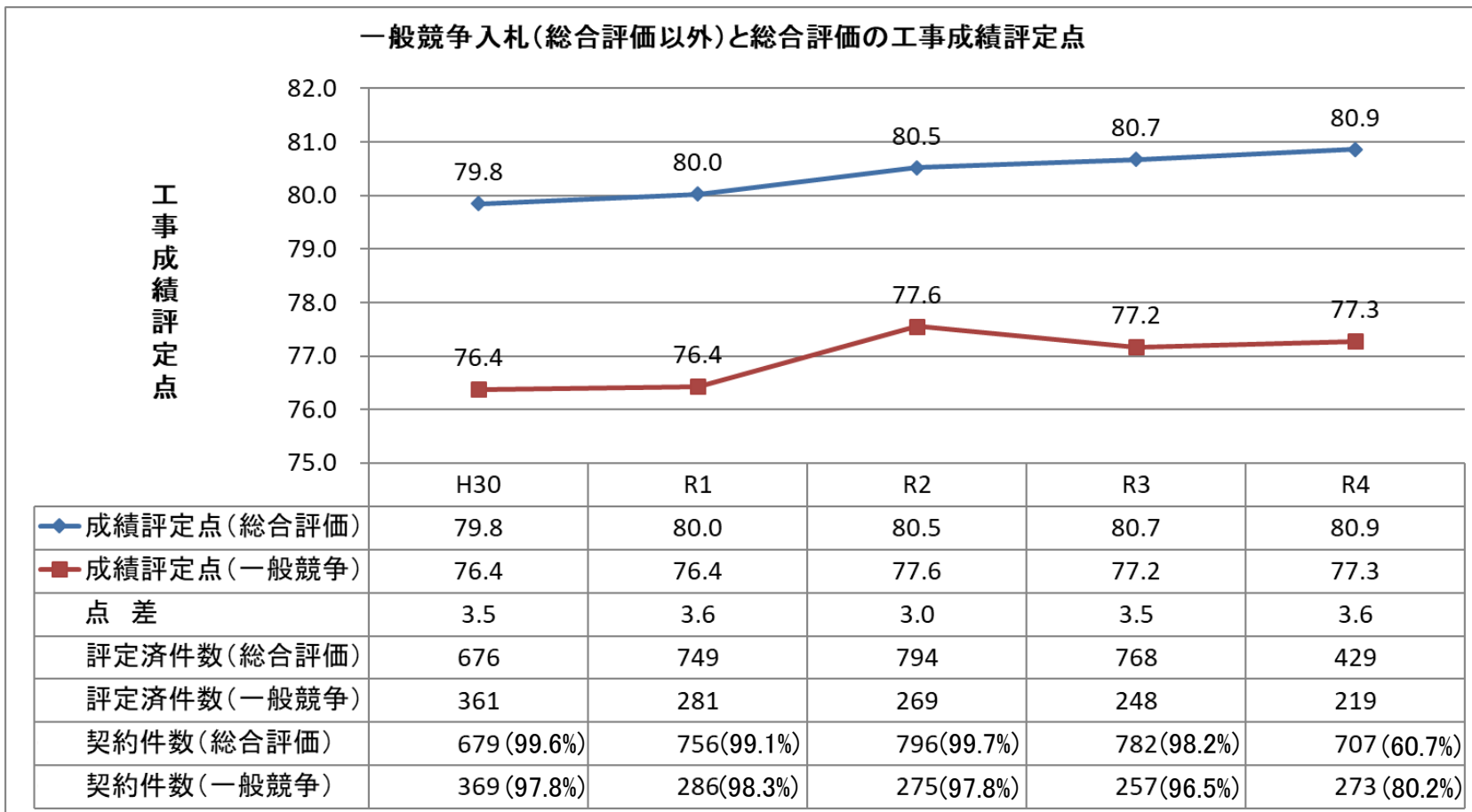


うち総合評価が占める割合  
42% [13件/31件]  
(不調12件+不落1件)

※公共4部局を対象

※「不調」とは応札者がいないこと。「不落」とは、応札者はいたが予定価格超過等により落札者が決まらないこと。

## 総合評価の工事成績評定点は、ゆるやかに上昇傾向



- ・警察は除く。
- ・評定は契約額5百万円以上
- ・一般競争入札は、総合評価を除く、事後審査型のみの件数
- ・令和4年度の工事は施工中が全体約34%（総合評価39%、一般競争20%）

R5年8月1日時点

# 週休2日制度適用工事の実績の評価状況



1. 週休2日制度適用実績を加点評価した企業が落札した割合は、約6割
2. 令和3年度から評価対象とした特別簡易型（Ⅰ）においては、加点評価した企業が落札した割合は5割

## 週休2日制度適用実績評価対象工事件数の推移

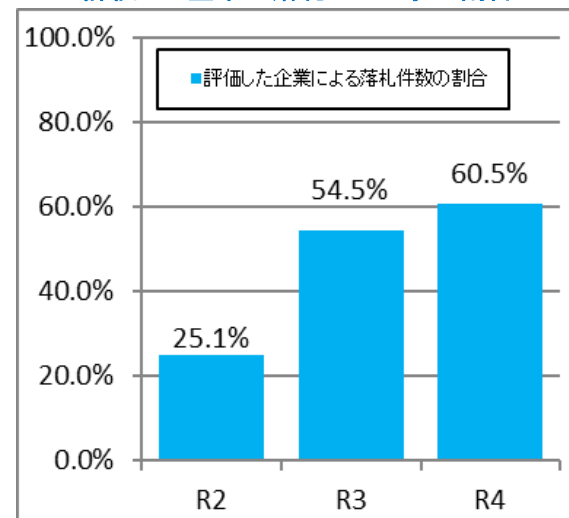
契約年度	評価対象とした工事件数	入札参加者数		評価した企業数		評価した企業による落札件数	
		b	b/a	c	c/b	d	d/a
R2	371件	493者	1.33	111者	22.5%	93件	25.1%
R3	782件	1209者	1.55	592者	49.0%	426件	54.5%
R4	707件	995者	1.41	555者	55.8%	428件	60.5%

※R4年度は実績値  
※警察は除く。

## 総合評価の種類別の評価の割合

項目	総合評価の種類	R2	R3	R4
入札参加者に占める 加点評価した 企業の割合	特別簡易型（Ⅰ）		37.2%	46.7%
	特別簡易型（Ⅱ）	19.6%	42.9%	75.0%
	簡易型	25.6%	56.2%	65.5%
	標準型	33.3%		100.0%
	AS施工体制評価型	64.3%	83.9%	88.5%
	県内下請活用審査型	0.0%	0.0%	14.3%
	解体施工体制評価型	0.0%	23.8%	10.5%
	計	22.6%	49.2%	55.8%
加点評価した企業が 落札した割合	特別簡易型（Ⅰ）		45.4%	51.5%
	特別簡易型（Ⅱ）	20.0%	43.1%	74.1%
	簡易型	27.8%	61.5%	71.7%
	標準型	33.3%		100.0%
	AS施工体制評価型	88.9%	85.5%	91.0%
	県内下請活用審査型	0.0%	0.0%	0.0%
	解体施工体制評価型	0.0%	40.0%	14.3%
	計	25.1%	54.5%	60.5%

## 週休2日制度適用実績評価対象工事に占める 評価した企業が落札した工事の割合



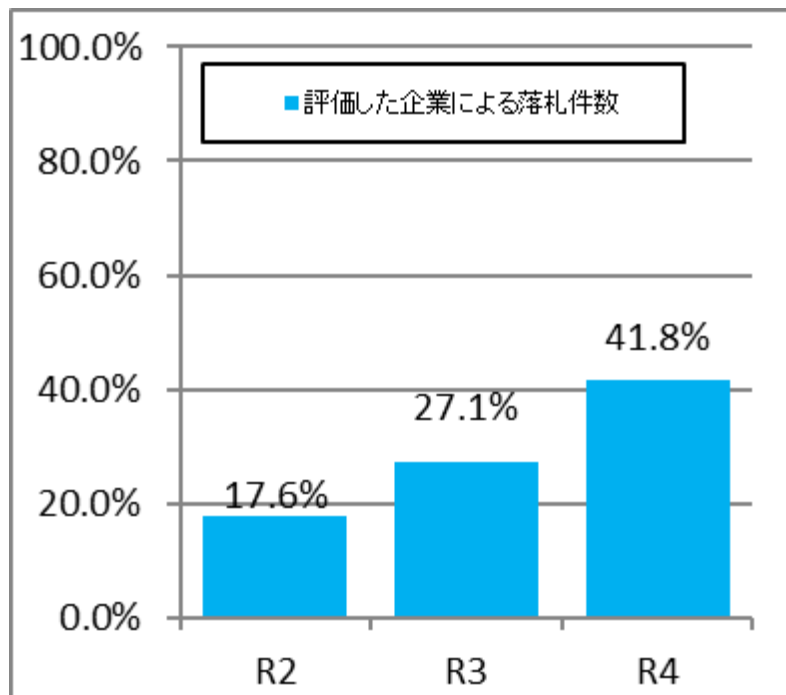
- ・ 令和2年4月1日、建設業の担い手対策を推進するため、働き方改革や生産性向上の取り組み等を実施している企業を評価し、より一層の普及を促すことを目的とし、「企業の取組」としての評価項目に「週休2日制度適用工事の実績の評価」を追加。評価対象を県全部局で特別簡易型（Ⅰ）を除く全ての総合評価で1点の加点評価を実施
- ・ 令和3年4月1日改定。評価対象を県全部局で特別簡易型（Ⅰ）を含む全ての総合評価に拡大  
【評価方法】 公告日に応じた対象期間（過去1年間）に完成検査済の県発注工事で週休2日制モデル工事を実施し、4週6休以上工事現場を閉所とした取組実績がある企業を評価。（入札参加者による申請による）  
→令和4年度において、週休2日制度適用実績を加点評価した企業が落札したのは、約6割
- ・ 令和5年4月1日、工事実績ではなく、入札参加する工事において、4週8休を適用することを宣誓した企業を評価する方法に改定

ICT施工技術実績を加点評価した企業が落札した割合は、約4割

## ICT施工技術の施工実績評価対象工事件数の推移

契約年度	評価対象とした工事件数	入札参加者数		評価した企業数		評価した企業による落札件数	
	a	b	b/a	c	c/b	d	d/a
R2	91件	118者	1.30	18者	15.3%	16件	17.6%
R3	96件	136者	1.42	38者	27.9%	26件	27.1%
R4	91件	131者	1.44	53者	40.5%	38件	41.8%

## ICT施工技術の施工実績評価対象工事に占める評価した企業が落札した工事の割合



・令和2年4月1日、建設業の担い手対策を推進するため、働き方改革や生産性向上の取り組み等を実施している企業を評価し、より一層の普及を促すことを目的とし、県全部局で1億円以上の工事に適用し、「企業の取組」としての評価項目に「ICT施工技術の施工実績の評価」を追加  
 入札参加業者から申請された（直近過去2年以内）実績を審査し、評価する。  
 【評価方法】公告日時時点で直近過去2年以内のICT施行技術工事を実施した企業を評価  
 令和4年度も、継続して実施  
 →令和4年度において、ICT施工技術実績を加点評価した企業が落札した割合は、約4割  
 ・令和5年4月1日、工事実績ではなく、入札参加する工事において、ICT施工技術を活用することを宣誓した企業を評価する方法に改定

# 余裕期間制度の試行状況



- 令和4年度は総合評価落札方式の工事707件のうち317件で余裕期間制度を試行
- 不調不落発生率について、余裕期間制度を適用有(2.8%)のほうが、適用無(8.7%)の工事よりも低い(不調不落が少ない)
- 工事成績評定点(工事品質)について、余裕期間制度を適用有(81.3点)のほうが、適用無(80.7点)の工事よりも0.6点高い

## ◆余裕期間制度の方式別適用件数(割合)

項目	総合評価の種類	R1				R2				R3				R4			
		適用無	適用有	全体	適用無	適用有	全体	適用無	適用有	全体	適用無	適用有	全体	適用無	適用有	全体	
総合評価の適用契約件数 [件]	特Ⅰ	369	425	482	576												
	特Ⅱ	198	192	130	27												
	簡易型	188	176	170	102												
	標準型	1	3	0	2												
	総合評価計	756	796	782	707												
余裕期間適用件数 [件]	特Ⅰ	0	62	97	274												
	特Ⅱ	0	0	1	12												
	簡易型	28	59	67	31												
	標準型	0	0	0	0												
	総合評価計	28	121	165	317												
余裕期間適用割合 [%]	特Ⅰ	0%	15%	20%	48%												
	特Ⅱ	0%	0%	1%	44%												
	簡易型	0%	34%	39%	30%												
	標準型	0%	0%	0%	0%												
	総合評価計	0%	15%	21%	45%												

## ◆余裕期間制度の目的

受注者の円滑な工事施工体制の整備を図るため、建設資材、労働者等の確保を計画的に準備するための期間を設定。(発注・施工時期等の平準化を目的)

## ◆余裕期間の設定

契約ごとに、60日以内で余裕期間を発注者が設定。工事の始期を発注者が指定、または、受注者が選択する。

## ◆適用工事

平成31年度県土整備部において、1億円以上の工事では試行開始。  
令和2年度全部局において、簡易型(総合評価)の工事では試行を拡大。  
令和4年度より、全部局において、一般競争入札の工事では試行を拡大。

## ◆対象外工事

災害復旧等緊急を要する工事等

※R5年8月1日時点

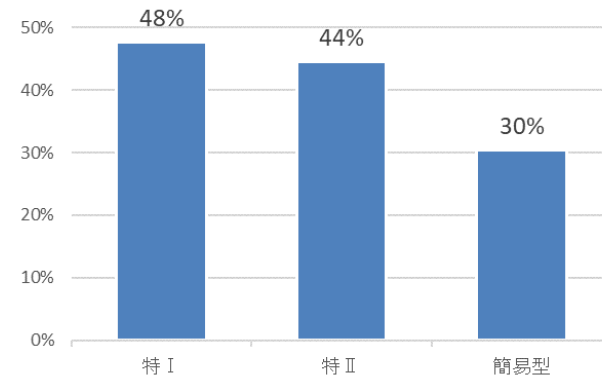
※警察を除く

※全体：総合評価を対象とする全ての案件

## ◆余裕期間制度の適用の有無と不調不落発生率、工事成績評定点(品質)の関係

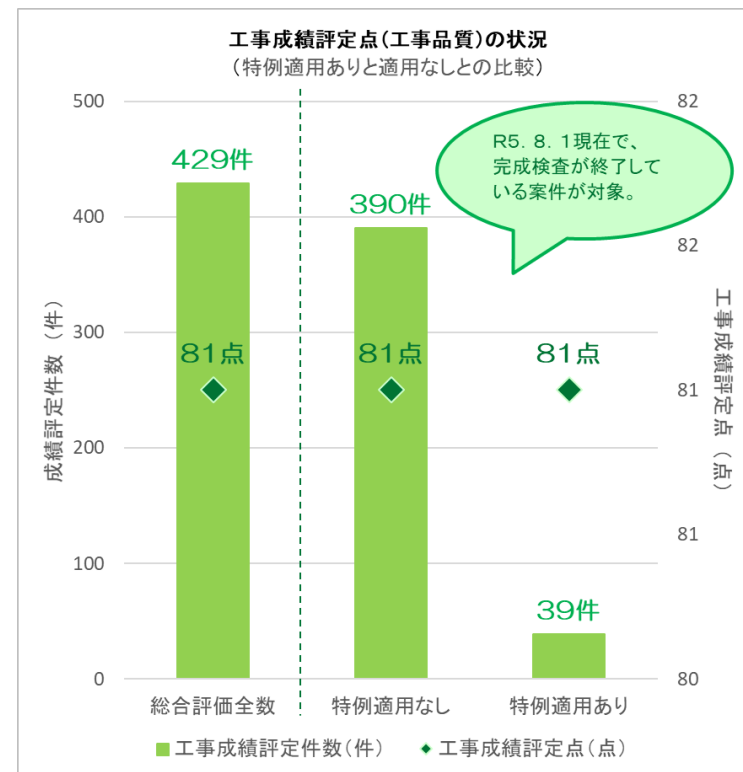
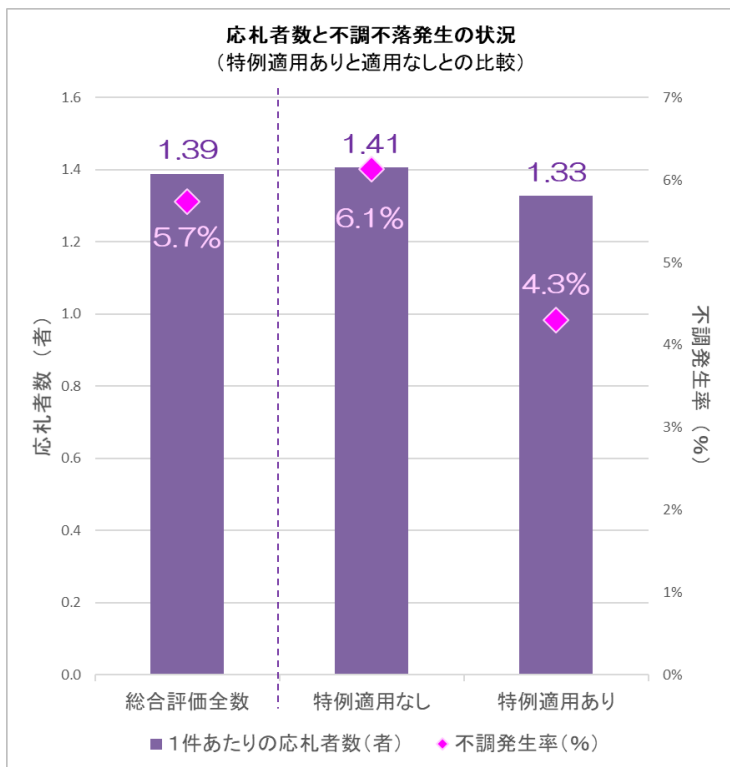
項目	総合評価の種類	R1			R2			R3			R4		
		適用無	適用有	全体	適用無	適用有	全体	適用無	適用有	全体	適用無	適用有	全体
応札者数(平均値)	特Ⅰ	1.7	-	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.4	1.6	1.4	1.4	1.4
	特Ⅱ	1.6	-	1.6	1.4	-	1.4	1.3	3.0	1.3	1.7	1.5	
	簡易型	1.3	1.4	1.3	1.3	1.2	1.3	1.5	1.4	1.5	1.3	1.4	1.3
	標準型	1.0	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	1.0	-	1.0
	総合評価計	1.6	1.4	1.6	1.5	1.4	1.5	1.6	1.4	1.5	1.3	1.4	1.4
不調・不落発生率 [%]	特Ⅰ	17.9%	0.0%	17.9%	14.3%	1.6%	12.5%	7.5%	5.2%	7.1%	7.6%	4.8%	5.6%
	特Ⅱ	13.1%	0.0%	13.1%	12.0%	0.0%	12.0%	7.8%	0.0%	7.7%	6.7%	0.0%	3.7%
	簡易型	19.1%	16.7%	18.6%	29.9%	3.4%	21.0%	10.7%	4.5%	8.2%	14.1%	0.0%	9.8%
	標準型	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	総合評価計	16.8%	16.7%	16.8%	16.4%	2.5%	14.3%	8.1%	4.9%	7.4%	8.7%	2.8%	16.1%
工事成績評定点(平均点) [点]	特Ⅰ	79.3	-	79.3	80.0	80.5	80.0	80.1	81.3	80.4	81.1	81.1	80.6
	特Ⅱ	80.0	-	80.0	80.8	-	80.8	80.8	80.0	80.8	82.5	83.9	83.0
	簡易型	81.2	82.4	81.5	81.0	82.2	81.4	81.0	82.3	81.5	81.3	81.1	81.2
	標準型	84.9	-	84.9	82.7	-	82.7	-	-	-	-	-	-
	総合評価計	79.9	82.4	80.0	80.4	81.3	80.5	80.4	81.7	80.7	80.7	81.3	80.9

R4 余裕期間適用割合(%)



## コロナ特例、12月補正特例による検証

- 令和4年度は、コロナ特例、12月補正特例を執行
  - 工事規模と技術的難易度によらず、「特別簡易型(I)」が選定可能
- 特例を適用した場合、応札者数と工事成績評定点については、適用しない場合とほぼ変わらないが、不調発生率は減少



R4 総合評価全数:707件  
 特例適用なし:551件(77.9%)  
 特例適用あり:156件(22.1%)

# 令和5年度工事総合評価（中間報告）

---

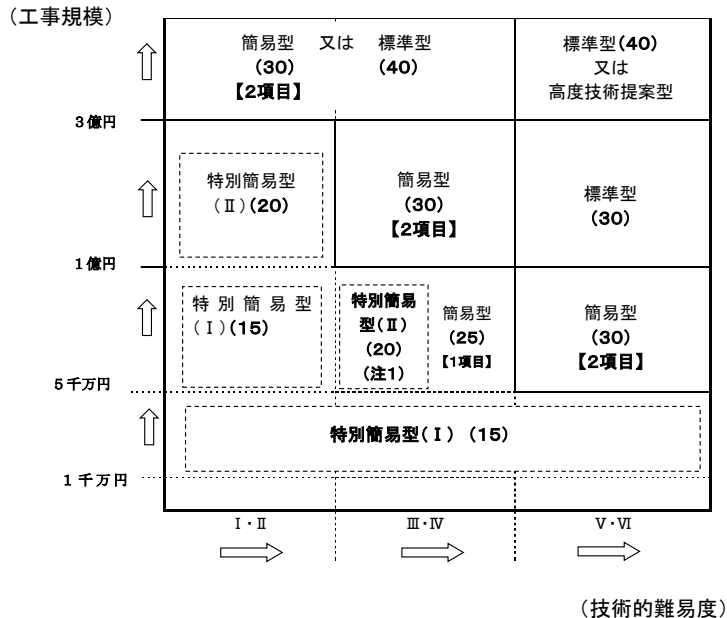
令和5年9月14日

山梨県総合評価委員会  
県土整備部技術管理課

## 令和5年度の総合評価実施方針(工事)

令和4年度 第2回委員会(令和5年3月15日)で決定

1. 原則、3千万円以上の工事について実施する。(緊急を要する工事を除く)
2. 3千万円以上の災害本復旧工事を総合評価落札方式で実施する場合は、特別簡易型 I を適用する試行を継続する。
3. 1千万円以上の解体工事は「施工体制評価型」の試行を継続する。
4. 意見聴取は毎週木曜午後2時から実施、木曜日が祝祭日の場合は、前後に実施する。
5. 令和5年度 第1回山梨県総合評価委員会開催を9月、第2回委員会開催を3月に予定する。



○特別簡易型 (I)  
企業実績、地域精通度、地域貢献度を評価するタイプ

○特別簡易型 (II)  
特別簡易型 (I) に加え、配置予定技術者を評価するタイプ

○簡易型  
特別簡易型 (II) に加え、簡易な施工計画の提案を評価するタイプ

○標準型  
簡易な施工計画ではなく、技術提案を求め、評価するタイプ

○県内下請活用審査型  
県内に有資格者がいない工事において、県内企業が下請できる部分が含まれる工事が対象

○施工体制評価型  
As工事、解体工事において、自社雇用の技術者や自社所有の施工機械を評価するタイプ

- ※ 令和5年度 改定事項
1. 週休2日制の適用 (施工実績評価廃止)
  2. ICT施工技術の活用 (施工実績評価廃止)



- 令和5年度4月～7月期の意見聴取件数は**326件**（324件+県以外2件）
- 昨年度同期と比べ**48件**増加。

	合計	通常				下請 県内下請 活用審査型	施工体制評価型		建設コンサルタント業務		県以外 市町村・ 道路公社等
		特別簡易型 (Ⅰ)	特別簡易型 (Ⅱ)	簡易型	標準型		アスファルト 舗装工事	解体工事	簡易型	特別簡易型	
意見聴取件数	326件	148件	18件	82件	1件	0件	53件	6件	4件	12件	2件

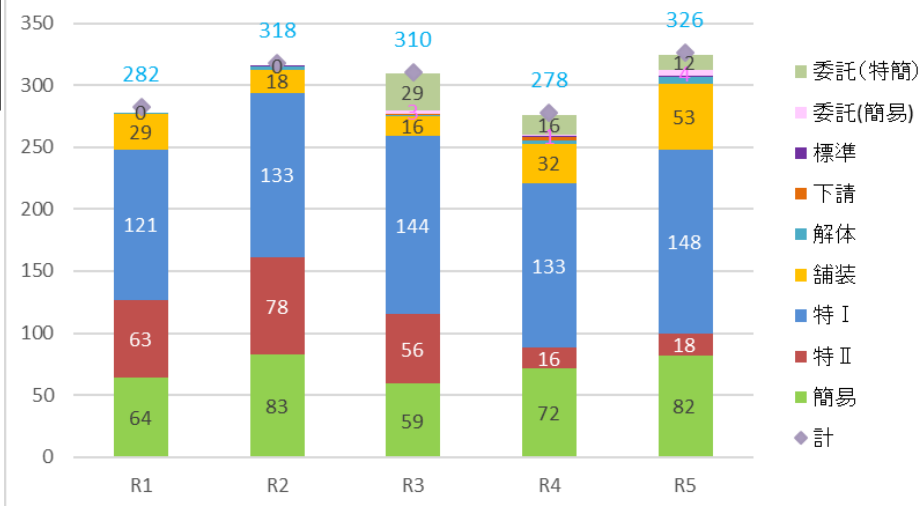
※R5年7月末集計

南アルプス市(1件)  
道路公社(1件)

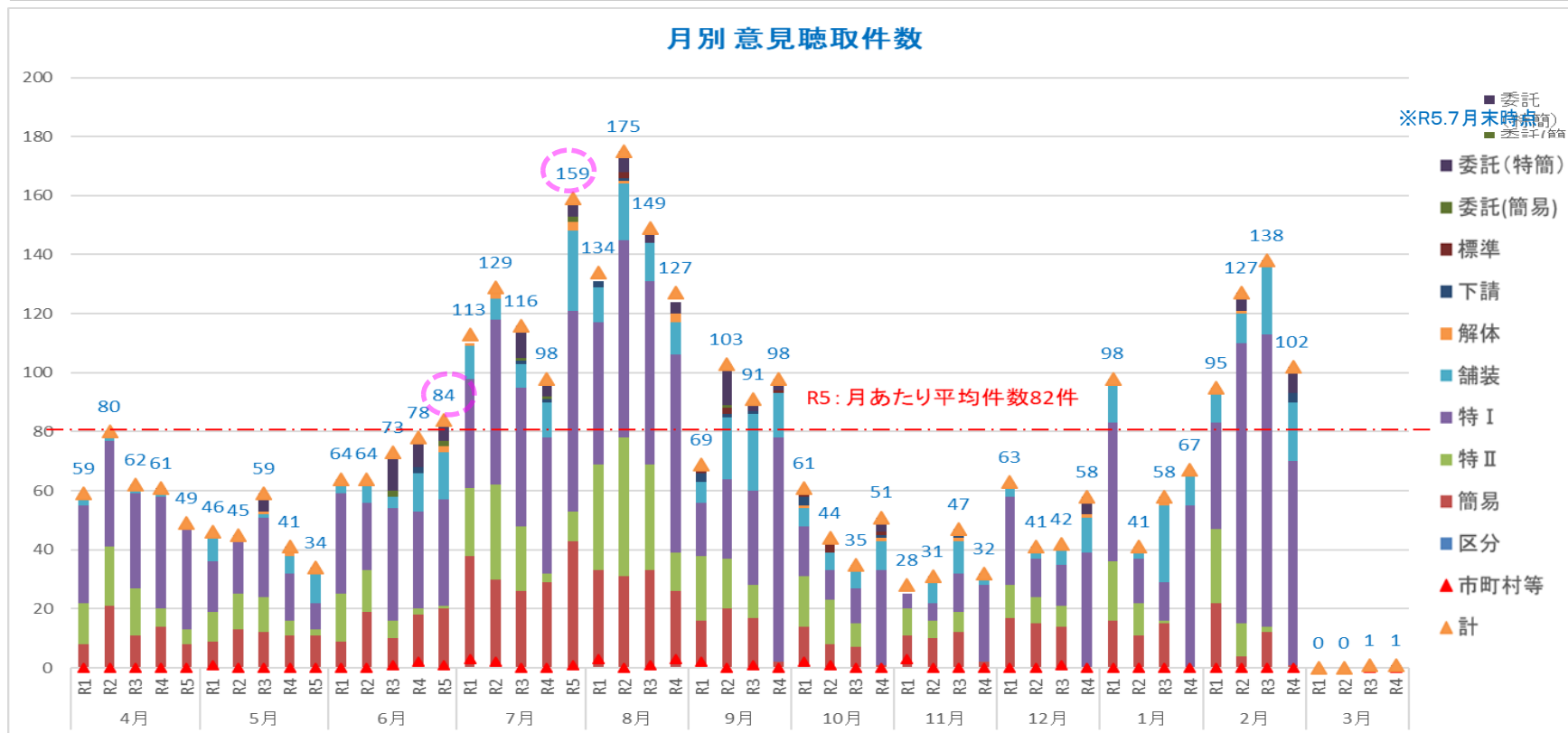
## 意見聴取の回数

令和5年度4月～7月期は、計**17**回実施。(R4は21回)  
そのうち**16**回は、簡易型(又は標準型)を含む。

4月～7月期 意見聴取件数



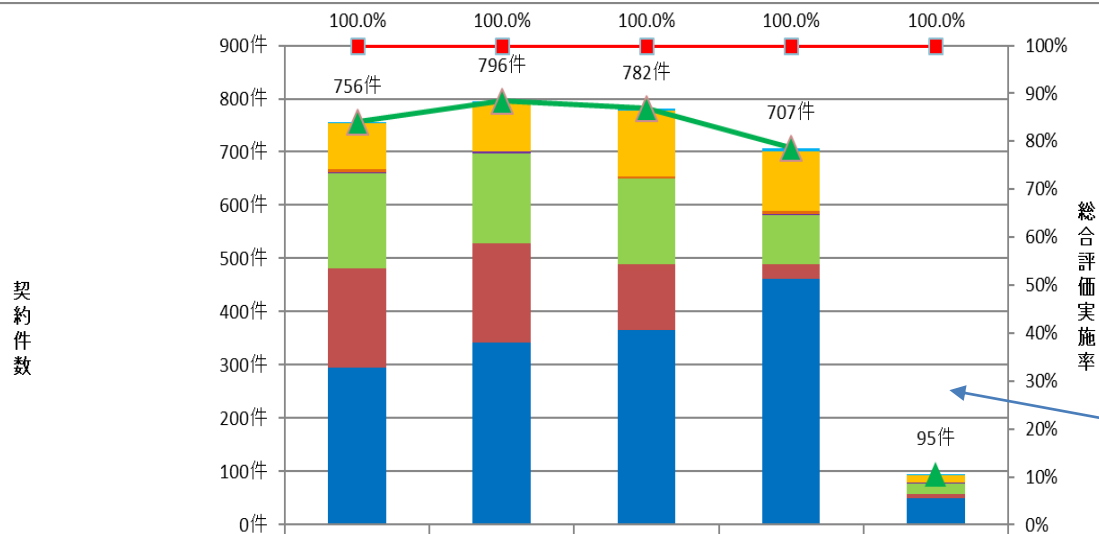
1. 意見聴取件数のピークは7月(159件)、次いで6月(84件)
2. 2班体制(2人×2班=4人)での意見聴取を2回実施



## 意見聴取件数が多い場合の対応

- ・個別に意見を伺う標準型及び簡易型の件数が12件(概ね2時間)を超えることが予想される場合は、2班に分けて意見聴取する。

1. 3千万円以上の工事は原則総合評価落札方式としている。
2. 3千万円以上の一般競争入札の工事に占める総合評価の割合は**100%**  
 ※ アスファルト舗装工事、解体工事（施工体制評価型）についても、1千万以上の一般競争入札の工事に占める総合評価の割合も **100%** )



※R5年度は中間値  
4月～7月末までの  
契約件数 95件

※R5年8月1日時点（警察は除く。）  
 ※ここでの総合評価適用率は3千万円以上の一般競争入札に占める割合。

# 総合評価の実施状況(工種別契約件数): 中間報告



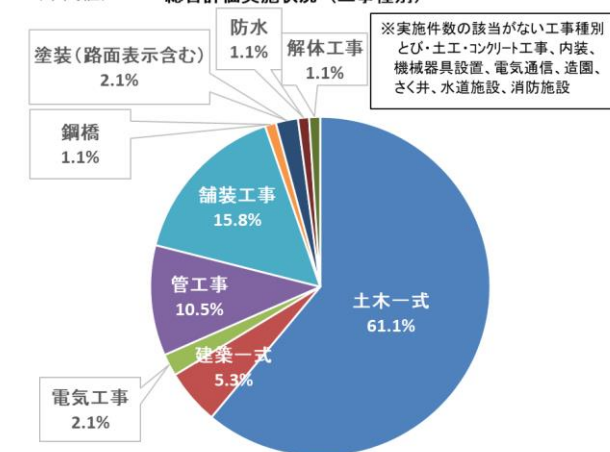
1. タイプ別では、特別簡易型(Ⅰ)が約53%、簡易型が約21%
2. 工事種別では、土木一式が多く、58件/全95件(約61%)

R5(中間値)

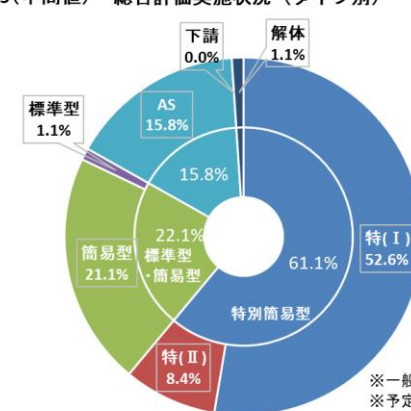
工事種別	件数							合計	割合
	特(Ⅰ)	特(Ⅱ)	簡易型	標準型	AS	下請	解体		
土木一式	44	5	8	1	0	0	0	58	61.1%
建築一式	1	0	4	0	0	0	0	5	5.3%
とび・土工・コンクリート工事	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
電気工事	1	1	0	0	0	0	0	2	2.1%
管工事	2	2	6	0	0	0	0	10	10.5%
舗装工事	0	0	0	0	15	0	0	15	15.8%
鋼橋	0	0	1	0	0	0	0	1	1.1%
塗装(路面表示含む)	1	0	1	0	0	0	0	2	2.1%
防水	1	0	0	0	0	0	0	1	1.1%
内装	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
機械器具設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
電気通信	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
造園	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
さく井	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
水道施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
消防施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
解体工事	0	0	0	0	0	0	1	1	1.1%
合計(件数)	50	8	20	1	15	0	1	95	100%
割合	52.6%	8.4%	21.1%	1.1%	15.8%	0.0%	1.1%	100%	
	61.1%		22.1%		15.8%	0.0%	1.1%		

R5(中間値)

総合評価実施状況(工事種別)



R5(中間値) 総合評価実施状況(タイプ別)



※R5年8月1日時点  
 ※警察は除く。

※一般競争入札を対象  
 ※予定価格250万円未満を除く  
 ※警察を除く